

2025年6月20日作成 Ver.1

《情報公開文書》

MASLD 長期経過における、肝疾患/心血管/発癌イベントに寄与する因子の検討
- 長崎県多施設共同研究

研究の概要

【背景】代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASLD）は代謝機能障害、いわゆるメタボリック症候群を原因とする脂肪性肝障害を来す疾患です。MASLDは脂肪肝をベースとし、将来的に肝硬変、肝臓癌へと進行する可能性があり、世界的に罹患数が増加傾向にあり、本邦でも対策が求められています。さらにMASLDはメタボリック症候群を合併しているため、肝疾患だけでなく心疾患、肝臓癌以外の癌に対してもリスクが危惧されています。しかし、MASLDの病状進行の程度は個人差があり、どのような人が肝硬変へ進行しやすいか、経過中に心疾患や癌が発症しやすいかについてははっきりしていません。本研究ではMASLD患者さんを長期間観察することで、そのようなリスク因子を明らかにしたいと考えています。

【目的】本研究は、MASLD患者さんにおいて、診断後から10年間の追跡を通じて肝疾患および心血管系、発癌イベントと、診断時および経過中の臨床データ（血液検査、線維化マーカーなど）との関連を明らかにすることを目的としています。

【意義】多くのMASLD患者さんの中から、肝硬変や心疾患、発癌リスクの高い患者さんを臨床検査から見出すことができれば、積極的な治療の介入が必要な患者さんを早期に見つけることができ、MASLD診療に大いに役立つと考えます。

【方法】MASLD患者さんを10年間フォローし、肝疾患イベント（肝硬変、肝不全、肝臓癌発生）、心血管イベント（狭心症、心筋梗塞、脳卒中）、肝臓癌以外の発癌に関するイベントを調査し、それらに関連のある項目を明らかにします。

対象となる患者さん

2016年1月1日から2030年12月31日の期間に長崎大学病院および共同研究施設においてMASLDと診断された患者さん。

研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者背景（性別、年齢、BMI、併存疾患など）
- ・生活習慣（喫煙、飲酒量、運動習慣など）
- ・血液検査（肝機能、肝線維化マーカーなど）
- ・画像検査（エコー、CT検査など）

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日	
本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2042年3月31日	
研究実施体制	
研究代表者	所属：長崎大学病院 消化器内科 氏名：宮明寿光 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7481
共同研究機関／研究責任者	この研究は長崎大学病院を中心に県内の6機関で実施します。詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。
長崎大学病院における情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
当施設における研究責任者	長崎医療センター 肝臓内科 本吉 康英
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 施設：国立病院機構 長崎医療センター 住所：〒856-8562 長崎県大村市久原 2 丁目 1001-1 電話：0957-52-3121（代表） FAX：0957-53-6675	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：患者サポート室 受付時間：月～金曜日 8:30～17:00	